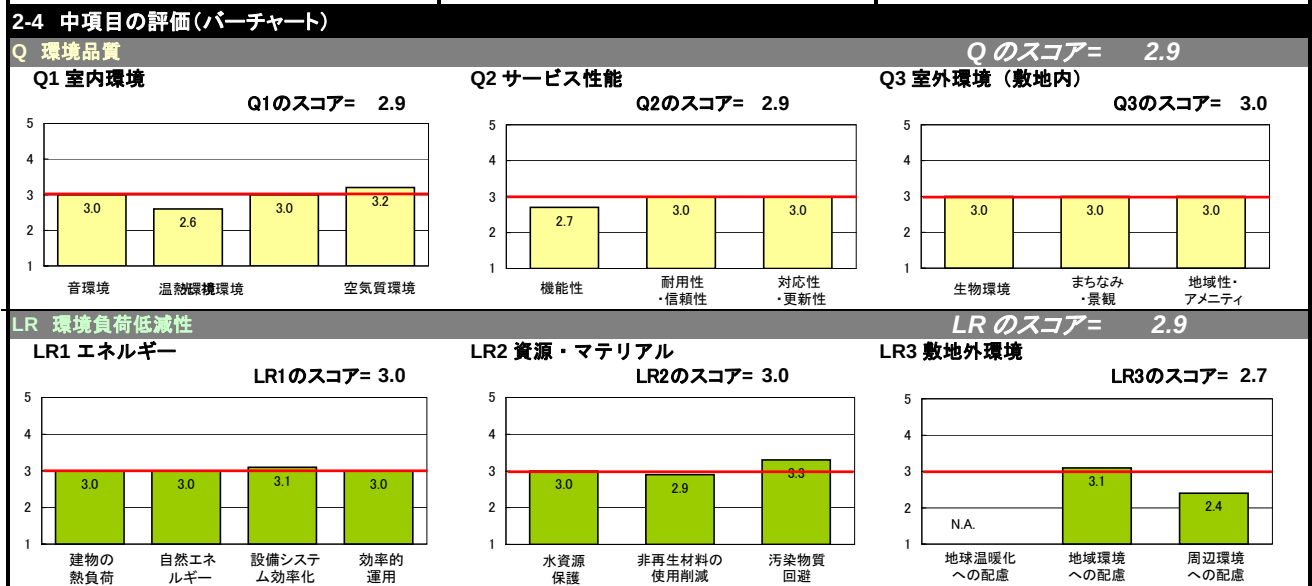
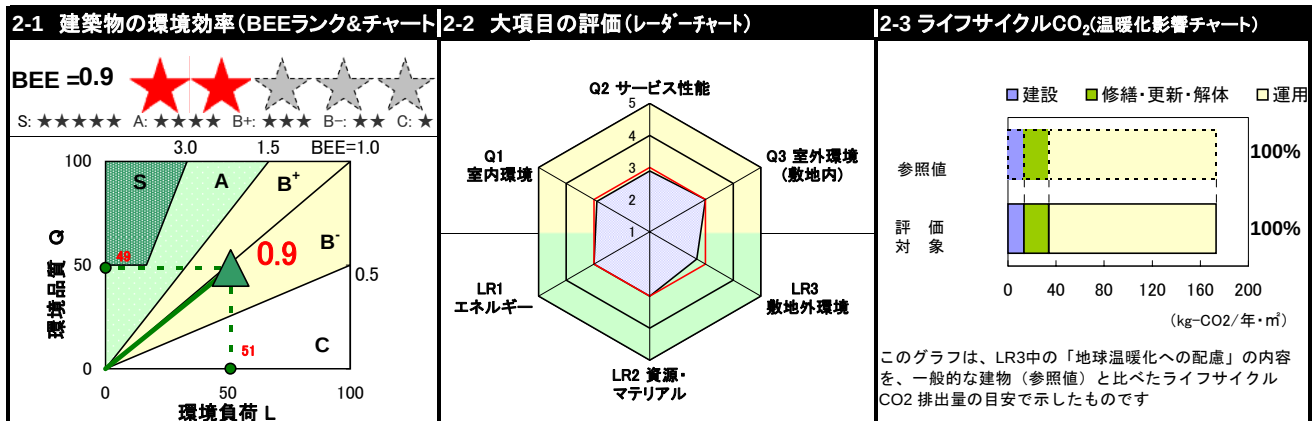


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	醍醐和光寮	階数	地上2F	
建設地	京都府京都市伏見区日野西川類4番地の3	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域、法22条地域	平均居住人員	160 人	
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2011年3月 予定	評価の実施日	2010年11月24日	
敷地面積	17,708 m ²	作成者		
建築面積	3,403 m ²	確認日		
延床面積	3,458 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 的障害者への充実した生活支援が出来るような設計を行った。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 バルコニーや庇を出来る限り設置することで日射を遮る配慮を施した。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 広場を設け植栽を行うとともに、舗装を行う範囲を出来る限り少なくしている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 エレベーターのインバーター制御の採用により省エネを配慮した。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 水洗に節水型を採用し水資源の保護に努める。非再生資源の削減や、リサイクル製品の分別回収を行う。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 充分な駐輪場、駐車場、サービス用スペースを設け、路上駐車など交通を妨げることがないようにした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい